



全学向け教育支援環境 利用の手引き

大阪大学サイバーメディアセンター
情報メディア教育研究部門

全学向け教育支援環境

サイバーメディアセンターでは、大阪大学全体の教育支援を目的に、高度な情報教育環境の構築、ICTを活用した多様なサービスの提供、情報教育と情報倫理教育の実施を行なっています。

仮想デスクトップ環境



情報教育システム

仮想デスクトップ環境（VDI）により820台の情報教育用端末を提供している。持ち込み端末（BYOD）や移動教室への対応として2014年より導入が開始され、自宅からも利用できる。

LMS



CLE

本学のLMSであり、授業ごとにコミュニケーションを促進するためのディスカッションボード、配布資料やPPTスライドなど各種教材の公開、オンラインでのレポート受付などの機能を提供している。

メールサービス



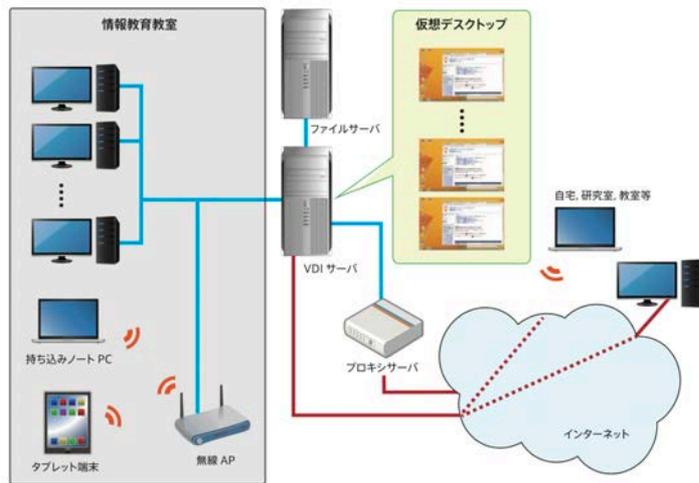
OUMail

全学生と卒業生が利用可能なメールシステムとしてMicrosoft社のOffice365サービスを提供し、学生に全学通知や各教務事務からの連絡などに活用している。



情報教育システムの概要

仮想デスクトップ環境 (Virtual Desktop Infrastructure, VDI) により820台の情報教育用端末を提供しています。持ち込み端末(BYOD)や移動教室への対応として2014年より導入が開始され、持ち込みパソコンでも利用できます。



端末配置 (豊中キャンパス)



図書館本館
ラーニングcommons
50台

理学部分散端末
B215 34台

CMC豊中教育研究棟

授業開講期間
8:40~21:30 (月~金)

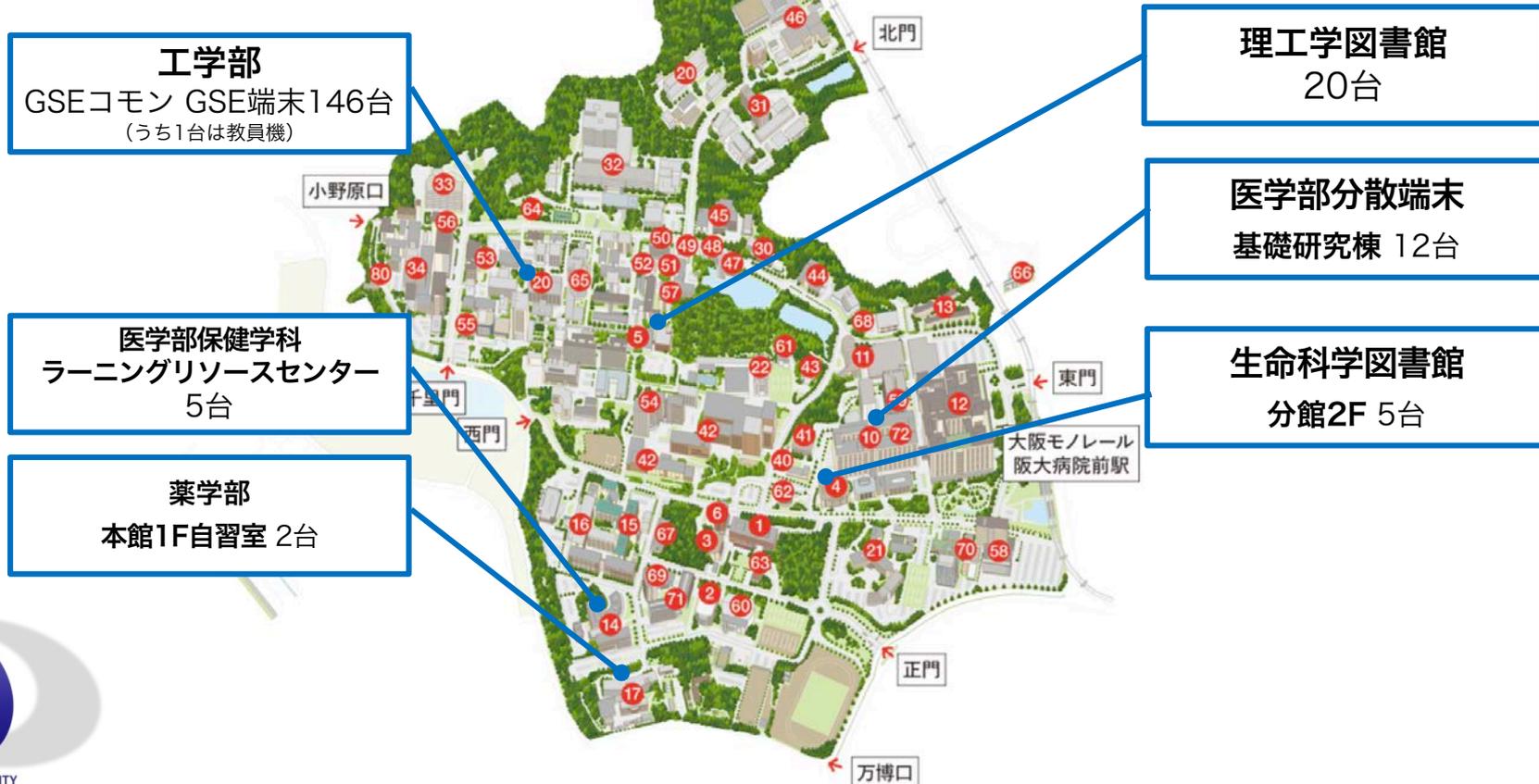
授業休業期間
8:40~17:00 (月~金)

第1教室	67台
第2教室	83台
第3教室	67台
第4教室	46台
第5教室	73台
準備室	2台

※上記各教室の端末台数には、それぞれ教員機1台を含みます
※新型コロナウイルスの影響で教室の定員に制限が課せられているため、現在実際に利用可能な端末台数は上記の半数です



端末配置 (吹田キャンパス)



VDIの仕様

- CPU: Intel® Xeon® CPU E5-2630Lv2@2.40GHz (2プロセッサ)
- Memory: 8.00GB
- Windows 10 Enterprise LTSC

持ち込みパソコンでVDIを利用するには？

情報教育システムサポートページに利用方法を掲載していますのでご確認ください。

- [BYOD利用方法（専用ソフトウェアで接続する方法）](#)
- [BYOD利用方法（Webブラウザで接続する方法）](#)



利用可能なアプリケーション一覧 (1/2)

- **Web browser**
 - Chrome
 - Firefox
- **Bio&Chem**
 - ChemOffice
- **Devel&Libs**
 - Visual Studio 2017
 - PEN
 - Cygwin
 - Xming
 - Eclipse for Java EE
 - Eclipse for C/C++
 - processing
 - Android Studio
 - MIT APP Inventor
- **Documentation**
 - Microsoft Office 2016
 - Adobe Acrobat Reader DC
 - dviout
 - Notepad++
 - KompoZer
 - emacs
 - PDFCreator
 - メモ帳
 - Visual Studio Code
 - PS_View



利用可能なアプリケーション一覧 (2/2)

- **Graphics**
 - GIMP
 - ImageJ
 - Inkscape
 - ペイント
- **Math**
 - Mathematica 12
 - Maple 2019
 - Octave
 - R 3.6.x
 - R commander
 - R Studio
 - gnuplot
 - 電卓
- **Multimedia**
 - VLC media player
 - Windows Media Player
- **Tool**
 - Lhaplus
 - QKC (漢字コードコンバータ)
 - Snipping Tool
 - ZoomIt
- **Others**
 - LTspice XV||
 - Office Access 2016



端末利用時の注意事項

- ホーム容量は一人あたり**2GB**まで
- プロファイル（Windows設定ファイル）について
 - IME辞書登録 : 可
 - 壁紙変更 : 可
 - デスクトップに保存 : 不可
→ 保存したいデータは**My Documents (Z drive)**以下に保存してください
 - Webブラウザのお気に入り登録 : 可
 - マイビデオ等 : 可 (Z driveに保存)
 - 多言語設定 : 可 (英語, ドイツ語, 中文(簡体), 韓国語)
→ 設定手順は[情報教育システムサポートページ](#)を確認してください
- **Linuxのファイルについて**
 - My Documents/linuxhome以下



プリンタ

オンデマンドプリンタ（有償）

設置場所：

豊中教育研究棟 1F, 3F

利用方法：

- ・ 端末から印刷ジョブを投入しプリンタで料金を支払って印刷
- ・ 生協プリンタカード/生協組合員証で支払い

① 印刷ジョブを投入
(通常の印刷処理と同様)

② 生協プリンタカードで
支払い・印刷



情報教育端末



課金プリンタ

カラープリンタ（無償） ※ 教員のみ

設置場所：

情報教育準備室（教員準備室）の端末にローカル接続

利用方法：

情報教育準備室および各教室の教員端末から印刷可能



キャンパスライセンス

本学では、以下のソフトウェアについて、キャンパスライセンスを取得しています。申請を行うことで、大阪大学に所属している教職員・学生は、学内で教育目的に使われる コンピュータ（大阪大学の備品）及び、個人所有のコンピュータ上でサービスを利用できます。

- **Microsoftソフトウェア（無料）**

利用方法：[Microsoft包括ライセンスページ](#)

- **Mathematica**

利用方法：[Mathematicaキャンパスライセンスページ](#)

- 1プロセス目は 20,000円
- 2プロセスから 9プロセスまで
1プロセス毎に 10,000円加算します (上限：100,000円)

- **ChemOffice**

利用方法：[ChemOfficeキャンパスライセンスページ](#)

- 研究室単位で 70,000円

- **Maple（無料）**

利用方法：[Mapleキャンパスライセンスページ](#)



情報教育システムに関するFAQ・更新情報

情報教育システムに関するマニュアル、FAQ、更新情報、アナウンス等は「情報教育システムサポートページ」に掲載しておりますので、ぜひご一読ください。

情報教育システムサポートページ

<http://www.ecs.cmc.osaka-u.ac.jp/wiki/>



CLE (授業支援システム)

大阪大学 CLE は、授業を IT 面からサポートするための授業支援システムです。インターネットにつながった環境があれば、いつでもどこでも利用できます。

授業で使う主なCLE の機能

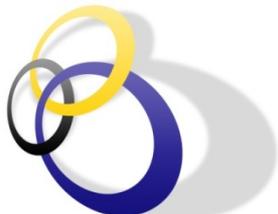
- 講義資料を閲覧する
- 遠隔講義に参加する
- 課題を提出する
- テストに解答する
- 成績を確認する
- 教員や TA と連絡をとる
- 剽窃チェック



詳細な利用方法についてはCLEのマニュアルをご確認ください。

学生向け： [学生向けマニュアル](#)

教員向け： CLEにログイン後、サポートセンターにアクセスしてください。
教員向けにオンデマンド型の利用講習会も開催しています



OUMail

大阪大学では、Microsoftの**Office365**によるWebメールを提供しています。OUMailへのログインは <http://mail.office365.com> から行います。ログインには、以下のメールアドレスとパスワードが必要になります。

- **ログインID** : 大阪大学個人ID (u*****x) @ecs.osaka-u.ac.jp
- **パスワード** : 大阪大学個人IDと共通
- **保存容量** : 100GB, 1通あたり最大35MB
- **卒業後も利用可能** : 卒業後はメールアドレスが変わります！
大阪大学個人ID@**alumni**.osaka-u.ac.jp

OUMailの認証は「**多要素認証**」と呼ばれる認証方式になります。ログインID（大阪大学個人ID@ecs.osaka-u.ac.jpの形式）とパスワード（大阪大学個人IDのパスワード）による認証に加えて、追加で認証を行う形になります。詳細は、OUMail多要素認証に関する特設ページをご覧ください。

[OUMailの多要素認証について](#)



アプリケーションのリクエスト方法

情報教育システムを利用する授業で、VDIに新しいアプリケーションをインストールする必要がある場合は、利用開始の**3ヶ月前**に以下の情報を「ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp」宛にご連絡ください。
なお、検証結果によってはインストールが難しい場合もございますので、予めご了承ください。

1. 対象環境 (Windows/ Cygwin / Linux)
2. 教員名・所属部局
3. 担当授業
4. ソフトウェアの利用目的
5. 利用開始日時
6. ディスク使用容量
7. ソフトウェアのインストーラ, およびインストール方法, 設定方法の詳細
8. チェック項目
 - 動作確認
 - ライセンス
 - 既存アプリケーションの確認
 - セキュリティ上のリスク



情報教育準備室（講師準備室）

サイバーメディアセンター豊中教育研究棟の情報教育教室を利用の授業担当の先生方向けに、講師準備室を提供しています。授業前後の授業準備の際にご利用ください。

場所：CMC豊中教育研究棟 2F 第2教室横

- 端末2台、プリンタ1台
- 8時30分～18時の間、部屋に鍵は掛けていません
貴重品を放置しないで下さい



情報倫理教材 (CLEのコースとして提供)

以下の情報倫理教材をキャンパスライセンスで購入しております。CLEから自由にご利用いただけますので、授業でご活用ください。

- INFOSS 情報倫理
- キーワードで学ぶ最新情報トピックス
- 情報倫理デジタルビデオ小品集※

※ 情報倫理デジタルビデオは、教育用端末からは下記リンクも利用可能です

小品集4: <http://webserver/jyouhourinri2012/>

小品集5: <http://webserver/jyouhourinri2015/>

小品集6: <http://webserver/jyouhourinri2016/>

小品集7: <http://webserver/jyouhourinri2017/>

2019 情報倫理

2019 18年デジタルリテラシー教育推進 教員専用 教員専用

2019 インターネットの基本的な注意点

電子メールは日常の中で連絡手段として頻りに使われます。また、掲示板、ツイッター、LINEなど、情報を書き込んだり、メッセージを受発信したりすることできるソーシャルメディアがあります。さらに、Webページは閲覧するだけでなく自分で作成して公開することも可能です。

この章では、インターネットで情報を発信するうえで、知っておくべきルールやマナーについて学習します。

2-1 電子メールの利用	2-1 電子メールの利用
2-2 メディアの利用	2-2 メディアの利用
2-3 Webページの制作と運用	2-3 Webページの制作と運用
2-4 オンラインゲーム	2-4 オンラインゲーム
2-5 ITの犯罪への風潮	2-5 ITの犯罪への風潮
2-6 個人情報と自己防衛	2-6 個人情報と自己防衛
2-7 ファイル共有	2-7 ファイル共有
2-8 ケーススタディ	2-8 ケーススタディ
2-9 チェックテスト	2-9 チェックテスト

